

令和4年度米子市美術館協議会

日 時 令和5年2月10日（金）午後1時30分から
ところ 米子市美術館 第3展示室

日 程

1 開 会

2 挨拶（会長）

3 議 事

（1）令和3年度米子市美術館事業報告について

（2）令和4年度米子市美術館事業実施状況について

（3）令和5年度米子市美術館事業計画について

（4）令和5年度米子市美術館収蔵品の購入について

4 その他

5 閉 会

米子市美術館協議会委員名簿

任期 令和3年10月1日から令和5年9月30日まで

区 分	氏 名	備 考
学識経験のある者	三浦 健吾	会長
学識経験のある者	鐘築 直子	職務代理者
学識経験のある者	水田 美世	委 員
学校教育の関係者	安次 里絵	委 員
学校教育の関係者	灘脇 俊彦	委 員
社会教育の関係者	永江 靖幸	委 員(彫刻)
社会教育の関係者	光木 桂二	委 員(洋画)
社会教育の関係者	八尾 洋一	委 員(洋画)
社会教育の関係者	仁宮 洋子	委 員(工芸)
社会教育の関係者	服部 麻知子	委 員(工芸)
社会教育の関係者	横畑 昌子	委 員(日本画)
社会教育の関係者	金田 芳子	委 員(書道)
社会教育の関係者	中澤 都志子	委 員(書道)
社会教育の関係者	岩崎 瑞枝	委 員(写真)
社会教育の関係者	長谷川 公夫	委 員(写真)

令和4年度米子市美術館協議会資料

目次

- (1) 令和3年度事業報告について…………… 1
- (2) 令和4年度事業実施状況について…………… 7
- (3) 令和5年度事業計画について…………… 13

①主催事業

は1月以降実施

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
鑑賞事業			
特別企画展 甦る日本画家 木下翠雨 主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館 協力：日南町美術館	7/16 (金) ~8/22 (日) [33日間]	1,784	日南町阿毘縁出身で、春日村(現・米子市春日地区)村長も務めた日本画家・木下翠雨 [きのした・すいう/1868-1946] 没後75年にして初の回顧展。山水図、花鳥画、美人画、書など50点と、師の藤田台石、同門の藤田苔巖、門下であった持田稻香の作品4点もあわせて展示。展覧会図録刊行。 会場：第1~2展示室 観覧料：一般500(前売400)円、大学生以下無料 *70歳以上の方、障がいのある方[付添1人を含む]、10人以上の団体、リピーター、美術館後援会会員、米子市歴史館友の会、Feel友の会、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポートなど提示の料金
関連事業： オープニングトーク	7/16 (金)	(34)	解説：青戸副館長兼主幹学芸員
記念講演会 「木下翠雨の時代 明治・大正期の鳥取、 大阪の日本画(南画)」	7/17 (土)	-	講師：林野雅人氏(大阪中之島美術館主任学芸員) 会場：米子市立図書館 多目的研修室 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
学芸員レクチャー 「軸の取り扱い方」 (第1回ミュージアムスクール)	7/24 (土) 7/25 (日) 7/26 (月)	-	講師：青戸副館長兼主幹学芸員 会場：第3展示室 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
学芸員によるギャラリートーク	8/7 (土)	-	解説：青戸副館長兼主幹学芸員 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
【新規】 おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(9)	小さな頃から美術館及び美術に親しむことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時~正午に設定。展示作品の細部に着目できるシートを配布して、より楽しめる鑑賞を促した。
若手作家支援展 朝倉弘平 雲わく庭から 主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館	2/11 (金・祝) ~3/6 (日) [22日間]	2,949	郷土ゆかりの新進気鋭の作家を発掘しその育成を図る「若手作家支援展」第6回目。大山町在住の画家・朝倉弘平 [あさくら・こうへい/1983年生まれ]の最新作・表題作をはじめ、『とっとりNOW』表紙原画や「大山トリップカード」原画シリーズなど138点(会期中に一部展示替)を展示。展覧会図録刊行。 会場：第4展示室 観覧無料
ワークショップ 「ワイワイするにわには？」 (プレイベント/ 第3回ミュージアムスクール)	11/3 (水・祝)	(28)	講師：朝倉弘平氏(本展出品作家) 会場：第1展示室
作家によるギャラリートーク	2/11 (金・祝) 2/20 (日) 2/27 (日)	-	解説：朝倉弘平氏(本展出品作家) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ※代替として作家によるオンラインギャラリートーク配信
作品をみて・はなして・きこう! (対話による作品鑑賞)	2/23 (水・祝)	(6)	進行：蔵多優美氏 (デザイナー/コーディネーター/アートマネージャー)

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
管理運営等事業			
展覧会事業			
特別共催展 フォーエバー現代美術館コレクション 草間彌生展 主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財) 米子市文化財団 米子市美術館 新日本海新聞社 特別協賛：山陰酸素グループ 特別協力：フォーエバー現代美術館 協力：株式会社アート・ コンサルティング・ファーム	4/24 (土) ~5/30 (日) 会期中無休 [37日間]	21, 234	フォーエバー現代美術館が所蔵する豊富な草間彌生 [くさま・やよい/1929-] のコレクションから版画や絵画、立体作品などを加えた134点と、KDDIとのコラボ携帯電話3点を展示。現在の草間彌生を象徴するモチーフが生まれた1980~1990年代の作品群を中心に、幻想的で豊かな色彩の独特の世界を紹介した。 会場：第1~4展示室 観覧料：一般 1,100 (前売900) 円、 高校・大学生 700円、中学生以下無料 *一般で15人以上の団体(※)、障がいのある方(付添1人を含む)は前売料金 *70歳以上の方、高校・大学生で15人以上の団体や障がいのある方(付添1人を含む)、日本海新聞みみちゃんクラブ・米子市美術館後援会・Feel友の会・米子市歴史館友の会会員は当日料金の100円割引 *会期中の水曜日は「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」提示当日券の100円割引
関連事業：			
日本海新聞 発刊45周年記念イベント	5/1 (土)	-	当日誕生日の方は観覧無料、 当日先着50人に草間彌生作品ポストカードプレゼント
映画上映会 「草間彌生 わたし大好き」	5/16 (日)	46(※)	会場：米子市立図書館 多目的研修室 監督：松本貴子/2008年/本編尺102分
映画上映会 「草間彌生∞INFINITY」	5/23 (日)	45(※)	会場：米子市立図書館 多目的研修室 監督：ヘザー・レンズ/2018年/本編尺77分
第60回記念 米子市美術展覧会(市展) 主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財) 米子市文化財団 米子市美術館	6/11 (金) ~6/19 (土) 会期中無休 [9日間]	2, 707	市民から公募した6部門(洋画、日本画、書道、写真、工芸、彫刻)287点を展示。 *初日開会式にて安田彰氏(琴アンサンブル安田会/米子市音楽祭出演団体)による演奏披露、表彰式、審査講評を実施。 会場：第1~5展示室 観覧料：無料
共催展 共に生きるアート展 KANSEI8 ~障がいのある人たちが 創造するカタチ~ 主催：米子市 共催：米子市教育委員会、 (一財) 米子市文化財団 米子市美術館	9/27 (月) ~10/4 (月) [7日間]	809	市内の障がい者施設に入通所している方による美術作品167点を展示。 会場：第4展示室 観覧料：無料
第65回 鳥取県美術展覧会(県展) 主催：鳥取県、鳥取県教育委員会、 新日本海新聞社 共催：米子市美術館、倉吉博物館、 日南町美術館	10/9 (土) ~ 10/18 (月) 会期中無休 [10日間]	2, 559	県民から公募した8部門(洋画、日本画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン)のうち入選作品399点を展示。 会場：全館 観覧料：無料 *初日に審査員による講評とギャラリートークを実施
コレクション展 I 版画の多様性 -様々な素材 様々な技法- 主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財) 米子市文化財団 米子市美術館	9/5 (日) ~10/3 (日) [25日間]	1, 012	本年度より、収蔵作品展を「常設展」から「コレクション展」へ改称。本展では凸版(木版など)・凹版(銅版など)・平版(リトグラフなど)・孔版(シルクスクリーンなど)といった4種類の基本的な版形式に注目し、それぞれの版種の特徴を紹介。池田満寿夫《座せるスフィンクス》など50点の版画作品と関連資料を展示。 会場：第2展示室 観覧料：一般330 (270) 円 *大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方(付添の方1人含む)及び米子市美術館後援会会員は無料 *()内は15人以上の団体、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポート等、「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」提示の料金

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
関連事業：			
ギャラリートーク (学芸員による展示解説)	9/18 (土) 10/2 (土)	(17)	解説：喜多村主幹学芸員
【新規】 おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(4)	幼い頃から美術館及び美術に親しむことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)と一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。対象者に展示作品の細部に着目できるペーパーを配布して、より楽しめる鑑賞を促した。
コレクション展Ⅱ 日常のかたち 主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館	10/31 (日) ～11/28 (日) [26日間]	1,217	足立正太郎《ラジオ》など、收藏品からかつての「日常」を描いた洋画や日本画、なにげない出来事やその印象を捉えた写真、彫刻、版画作品など44点を展示。 会場：第2展示室 観覧料：コレクション展Ⅰに同じ *「文化の日」「関西文化の日」無料開放日 11/3、11/13、11/14の3日間 (期間中入場者数：533人)
関連事業：			
ギャラリートーク (学芸員による展示解説)	11/20 (土)	(9)	解説：小川統括学芸員
【新規】 かぞくでアートじかん	会期中 毎週月・金曜	(0)	小さな頃から美術館及び美術に親しむことを目的に、未就学児とその保護者とと一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月・金曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるペーパークイズを据置配布して、大人も子どもも楽しめる鑑賞を促した。
教育普及事業			
ミュージアムスクール	全4回		
学芸員レクチャー 「軸の取り扱い方」 (特別企画展関連事業)	7/24 (土)– 7/26 (日)– 7/26 (月)–	–	講師：青戸副館長兼主幹学芸員 会場：第3展示室 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
アートな散歩 (美術館・山陰歴史館連携事業/ フレイル予防事業)	10/17 (日)	15 (※)	解説：(当館)喜多村主幹学芸員、 (山陰歴史館)山本副館長兼主幹学芸員 場所：米子市美術館→加茂川沿い→内町ポケットパーク→山陰歴史館
ワークショップ 「ワイワイするにわには？」 (若手作家支援展関連イベント)	11/3 (水・祝)	28	講師：朝倉弘平氏 (若手作家支援展出品作家) 会場：第1展示室
映画上映会 「ゴッホ 最期の手紙」	3/27 (日)	38	会場：第1展示室 監督・脚本：ドロタ・コビエラ、ヒュー・ウェルチマン 2017年/本編尺96分/日本語吹き替え版
出前講座	全2回		
就将小学校藤樹会による 米子彫刻ロード清掃	7/2 (金)	35 (※)	依頼元：米子市立就将小学校 解説：小川統括学芸員 場所：米子彫刻ロード (新加茂川沿い)
「甦る日本画家 木下翠雨」 へのお誘い	7/22 (木)– [中止]	–	依頼元：米子地区書道連盟 講演：青戸副館長兼主幹学芸員 会場：米子市公会堂 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
米子市文化財団・ 米子工業高等専門学校連携事業	–	–	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
米子市文化財団連携事業 米子市文化財団 カルチャー・フェスティバル2021 「レッツリメイク！ポスターバッグ」	11/6 (土)	フェス全体 2,568 (※) うち 美術館ブース 98 (※)	米子市文化財団が管理・受託している各施設が特色のあるワークショップを実施した。美術館ブースでは過去の展覧会ポスターを活用したペーパーバッグを作るワークショップを実施した。 会場：米子市立図書館及び米子市美術館前エントランス広場 創作・交流広場
「施設紹介展示&クイズラリー」	11/2 (火)～7 (日)	366 (※)	会場：米子市立図書館2階市民ギャラリー

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
博物館実習受入	随時	-	4人受入(和光大学1人、大谷大学大学院1人、京都先端科学大学1人、八洲学園大学1人)
インターンシップ受入	随時	-	2人受入(鳥取環境大学1人、日本海情報ビジネス専門学校1人)
サポーター(ボランティア)	通年	-	展覧会広報補助、展覧会関連事業補助等18回活動(第8期1年目・34人登録)
アンケート	通年	-	展覧会・イベント来場者に配布し意見・要望等を回収、また11月より一般入館者を対象にしたアンケートを新規作成、館内に回収箱を設置
ホームページによる情報提供	通年	-	展覧会情報、貸館展示情報、展示室空き状況、チケット取扱等随時更新
SNSによる情報発信	随時	-	Twitter上で展覧会関連情報・イベント関連情報やトピックをリアルタイムで発信
資料収集事業			
郷土関係作家、次年度以降事業資料収集	通年	-	収蔵作家関係、地元作家、若手作家関係調査
			次年度企画展等実施に向けた調査等
収蔵作品・資料データベース化	通年	-	収蔵品管理システム入力
収蔵図書データベース化	通年	-	収蔵品管理システム入力
収蔵品の修理・修復	随時	-	米子市所蔵及び寄託刀剣手入
			平山郁夫《タリム河》アクリル撤去
			生田真《ゆりと椅子》他計3点額装
			徳持耕一郎《Piano & bassman》マット装
収蔵品の貸出等	随時	-	「木下翠雨の里帰りと同時代を生きた郷土の日本画家たち」(日南町美術館)へ藤田台石《高士図》他計2点貸出
			「刀剣展-島根と中国地方の優品-」(出雲文化伝承館)へ寄託作品《太刀 銘 安綱》1点貸出
			「線を引かざる日なし/Nulla dies sine linea -鳥取ゆかりの美術家による素描」(鳥取県立博物館)へ木山義喬《男胸像》他計11点貸出
			画像貸出4件(5点)
収蔵品状況			洋画204点、日本画93点、素描294点、彫刻34点、書10点、版画364点、写真841点、工芸1点、資料74点 合計1,915点
その他事業			
展覧会図録等の売捌	通年	-	既刊展覧会図録や所蔵品目録などの販売
【新規】年報発行	9月発行	-	隔年報として令和元・2年度の2ヶ年分の美術館活動報告をまとめ、巻末に付録として開館以降の展覧会実施状況を収録
【新規】戸田海笛《喜怒哀楽の図》ブロンズレリーフの点検・清掃	11/27(土)~28(日)	-	《喜怒哀楽の図》のブロンズ鑄造を手掛けた黒谷美術株式会社による点検と清掃を実施、また同作のメンテナンス方法を学び維持管理に努めた。
【新規】オリジナルグッズの製作	(調査年)	-	収蔵作品をモチーフにしたオリジナルグッズ製作に向け要望をアンケートやSNSを活用した調査を実施
開館記念日イベント	6/17(木)	-	米子市展会期中の当日来場者319人に収蔵作品ポストカードプレゼント
井上幸夫・英子コレクション展示替等	7月 9月 12月 3月	-	アジア博物館に寄託されているアール・ヌーヴォー期のガラス工芸作品について定期点検を実施
令和3年度主催事業入場者数合計(人)		34,337	美術館外で実施したもの(※)及び入場者が重複しているもの()は除く

②貸館事業 (令和3年度分)

会期	展覧会名	展示室	入場者数(人)		備考
			小計	合計	
2021 4/2～4/12	角護展 60年の軌跡 -自然と人間を探る-	1～4	-	907	
6/25～6/29	米子美術家協会小品展	3	-	448	芸術文化活動応援事業
7/2～7/6	書の作品展 Style字遊	2	-	643	芸術文化活動応援事業
7/9～7/13	第41回 山陰二紀展	3	-	207	芸術文化活動応援事業
7/16～7/20	西陣美術織 若冲動植綵絵展	3	-	513	芸術文化活動応援事業
7/30～8/9	記憶と残像 藤田英樹彫刻展	4	-	553	芸術文化活動応援事業
8/20～8/24	第34回 山陰現展	3	356	664	芸術文化活動応援事業
	鳥取県写真家連盟 第23回合同写真展	4	558		芸術文化活動応援事業
8/27～8/30	第49回「日本の書展」米子展	1～4	-	568	
9/3～9/7	第52回 美術集団ゼム作品展	1	500	1,094	米子市秋の文化祭参加事業
	第36回 米子写真倶楽部作品展	3	558		米子市秋の文化祭参加事業
	第62回 チャーチル会米子作品展	4	777		米子市秋の文化祭参加事業
9/10～9/14	第41回 フォトクラブ・ピノキオ写真展	1	704	1,020	米子市秋の文化祭参加事業
	第54回 麓人展	3	512		米子市秋の文化祭参加事業
	日本風景写真協会鳥取支部写真展「四季彩々」	4	544		米子市秋の文化祭参加事業
9/17～9/21	第25回記念 ビスタレー絵画展	1	656	956	米子市秋の文化祭参加事業
	第9回 実紀の会洋画展	3	495		米子市秋の文化祭参加事業
	鳥取県書道教育研究会 生徒条幅展	4	507		米子市秋の文化祭参加事業
9/24～9/28	第20回 鳥取県西部地区アンデパンダン絵画展	1	747	897	米子市秋の文化祭参加事業
	第52回 写真集団ゼロ作品展	3	501		米子市秋の文化祭参加事業
10/1～10/5	第3回 仁愛書院展	1	780	939	米子市秋の文化祭参加事業
	'21 山陰新協美術展	3	533		米子市秋の文化祭参加事業
10/22～10/26	第40回 麗山書院展	1	857	2,024	米子市秋の文化祭参加事業
	イマージュガラス工芸教室 第33回「彩りの時間に」	2	1,339		米子市秋の文化祭参加事業
	第42回 龍心展	3	628		米子市秋の文化祭参加事業
	第80回記念 米子美術家協会展	4	800		米子市秋の文化祭参加事業
10/29～11/2	第23回 透明水彩で描く水彩画作品展	1	913	1,344	米子市秋の文化祭参加事業
	第49回 米子墨彩会水墨画展	3	606		米子市秋の文化祭参加事業
	第26回 米子市写真家協会展・米子市 保定市文化交流企画展	4	832		米子市秋の文化祭参加事業
11/5～11/9	第13回 米子陶友会展	1	599	1,973	米子市秋の文化祭参加事業
	サークル"U"写真展「それぞれの視線」	3	523		米子市秋の文化祭参加事業
	第13回 たまいつかさとアトリエKūのこどもたち ソウゾウのちから展	4	1,637		米子市秋の文化祭参加事業
11/12～11/16	第21回 社団法人創元会鳥取支部洋画展	1	604	2,481	米子市秋の文化祭参加事業
	西部地区中学校美術教育研究会 中美展	3・4	2,184		米子市秋の文化祭参加事業
	第57回 米子かこう会作品展	5	389		米子市秋の文化祭参加事業
11/19～11/23	第35回 米子工芸会展	1	647	821	米子市秋の文化祭参加事業
	第38回米子地区書道連盟展	3・4	583		米子市秋の文化祭参加事業
12/4～12/12	令和3年度 鳥取県障がい者芸術・文化作品展 あいサポート・アートとつとり展	1～4	-	841	
12/18～12/27	第19回鳥取県ジュニア美術展覧会(ジュニア県展)	3・4	-	2,216	
12/24～12/28	深田手芸あみものニット作品展	1	-	272	芸術文化活動応援事業

2022 1/15～1/16	第35回 日本習字鳥取県西部地区書道展	4	-	719	
1/16～1/23	第68回 鳥取県勤労者美術展	1・2	-	586	
1/23～1/30	第26回 鳥取県美術家協会作品展	3・4	-	460	
2/5～2/13	令和3年度 鳥取県文化功労賞受賞記念巡回展(西部会場)	1・2	-	515	
2/25～3/1	米子市美術館後援会創立35周年記念事業 アートフルなまち米子！合同作品展	1・2	-	2,130	
3/4～3/8	第15回 ふれあいの里合同展	1	-	610	
3/4～3/6	米子工業高等専門学校建築学科 「卒業設計作品・優秀作品展2021」	3	-	472	
3/11～3/14	山陰広告賞 2022	1・2	-	319	
3/18～3/22	写真展「レント王国から日本へ」	1	446	555	
	第54回 米子書芸院展	4	365		
令和3年度貸館事業入場者数合計			利用件数 50件	27,747	利用料収入 2,753,042円

①主催事業

は1月以降実施予定事業

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
鑑賞事業(実施事業)			
企画展 鈴木康生 木口木版 ～暗闇に光を刻む～ 主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館	R4.7/16(土) ～8/21(日) [32日間]	2,634	郷土ゆかりの注目すべき作家を取り上げる企画展。今回は「第17回国民文化祭・とっとり2002夢フェスタ版画の祭典」で国民文化祭実行委員会会長賞を受賞した木口木版画家・鈴木康生(1969～/伯耆町出身/米子北高卒)を紹介した。木口木版85点。会期中作家が会場に滞在し実演を兼ね、鑑賞者との交流も行った。オリジナル版画付き展覧会図録刊行。フルーツカフェサエキとの連携で会期中コラボメニュー「キノコランド氷」あり。 会場:第2展示室 観覧料:無料
関連事業:			
作家によるオープニングトーク	7/16(土)	(28)	解説:鈴木康生氏(本展出品作家)
作家による実演	7/17(日) 7/18(月・祝)	彫り/(14) 摺り/(20) 彫り/(18) 摺り/(20)	実演:鈴木康生氏(本展出品作家) 会場:第2展示室
木口木版ワークショップ (第1回ミュージアムスクール)	7/31(日) 10時～16時30分	(10)	講師:鈴木康生氏(本展出品作家) 会場:米子市明道公民館2階第1研修室 対象:高校生以上 定員:10名 参加費:1,100円
作家によるギャラリートーク	8/13(土)	(35)	解説:鈴木康生氏(本展出品作家) 会場:第2展示室
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(42)	小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)と一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるシートを配布して、より楽しめる鑑賞を促した。
特別企画展 満田晴穂 JIZAI 主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館 協力:レントゲン芸術研究所準備室	R5.1/22(日) ～2/26(日) [31日間]		「自在置物」(金属などを素材とし、昆虫や蛇、甲殻類などをかたどった金属工芸品)を継承する作家として国内外で活躍している自在置物作家・満田晴穂(1980～/米子市生まれ)の最近作16点を中心に紹介、美術館での初個展。フルーツカフェサエキではコラボメニューとして「たまたまどら焼きでできたフルーツサンド」あり。 会場:第1・2展示室 観覧料:一般500(前売400)円、大学生以下無料 *70歳以上の方、障がいのある方[付添1人を含む]、10名以上の団体、リピーター、美術館後援会会員、米子市歴史館友の会、Feel友の会、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポートなどをご持参の方の料金
関連事業:			
作家によるオープニングトーク	1/22(日)	(82)	解説:満田晴穂氏(本展出品作家)
作家によるトークイベント	1/22(日)	(56)	解説:満田晴穂氏(本展出品作家)、 池内務氏(レントゲン芸術研究所準備室親方) 会場:米子市立図書館 多目的研修室 定員:60人 要申込 本展観覧券または半券が必要
学芸員によるギャラリートーク	2/4(土) 2/18(土)		解説:喜多村主幹学芸員
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜		小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)と一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるシートを配布して、より楽しめる鑑賞を促す。

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
管理運営等事業			
①展覧会事業			
<p>特別共催展 MINIATURE LIFE展 ～田中達也 見立ての世界～</p> <p>主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館、新日本海新聞社</p> <p>特別協賛：山陰酸素グループ 企画制作：(一財)NHKサービスセンター、株式会社CoCo 企画協力：株式会社MINIATURE LIFE</p> <p>関連事業：</p>	<p>4/23(土) ～5/30(月)</p> <p>会期中無休 [38日間]</p>	<p>29,362</p>	<p>誰もが知っている身近なものを別のものに見立て、ユーモアあふれる小さな世界を作り出すミニチュア写真家・見立て作家・田中達也(1981年/熊本県生まれ)の代表作から新作まで、選りすぐりの110点の写真と49点のミニチュア作品を一堂に展示。全作品撮影可能。フオトスポットも設置し子どもからおとなまで楽しんでもらえた。フルーツカフェサエキではコラボメニューとして「どこから食べるか抹茶宇宙パフェ」あり。</p> <p>会場：第1～4展示室 観覧料：一般 1,100(前売900)円、小中高生 500円、未就学児無料 *一般で15人以上の団体、障がいのある方(付添1人を含む)は前売料金 *70歳以上の方、高校・大学生で15人以上の団体や障がいのある方(付添1人を含む)、日本海新聞みみちゃんクラブ・米子市美術館後援会・Feel友の会・米子市歴史館友の会会員は当日料金の100円割引 *会期中の水曜日は「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」提示で当日券の100円割引</p>
<p>田中達也トークショー</p>	<p>4/23(土)</p>	<p>(50)</p>	<p>講師：田中達也氏(本展出品作家) 会場：米子市立図書館 多目的研修室</p>
<p>第61回 米子市美術展覧会(市展)</p> <p>主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館 協力：第64回米子市音楽祭</p>	<p>6/10(金) ～6/18(土)</p> <p>会期中無休 [9日間]</p>	<p>2,288</p>	<p>市民から公募した6部門(洋画、日本画、書道、写真、工芸、彫刻)247点を展示。</p> <p>*初日開会式(1階ホール)にて門脇康一氏(ラ・エスペランサ代表)による演奏披露、表彰式(米子市立図書館2階多目的研修室)、審査講評(各展示室)を実施。 会場：第1～5展示室 観覧料：無料</p>
<p>共催展 山陰線開業120年の歴史</p> <p>主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 [米子市立山陰歴史館・米子市美術館]</p> <p>特別協力：西日本旅客鉄道株式会社米子支社 協力：倉吉博物館、公益財団法人交通文化振興財団 交通資料調査センター、境港市市史編さん室、鉄道の街米子・米子の鉄市実行委員会、鳥取県立公文書館、鳥取県立図書館、鳥取県立博物館、鳥取市歴史博物館、米子市立図書館</p> <p>関連事業：</p>	<p>7/31(日) ～8/28(日)</p> <p>[25日間]</p>	<p>1,136</p>	<p>明治35年(1902)、山陰線境-御来屋間鉄道開業から、令和4年(2022)で120年を迎えることを記念し、関連資料や写真などで、山陰地方の近代化と発展を支えた鉄道の歴史を紹介。</p> <p>会場：第1展示室 観覧料：一般300(250)円 *()内は15人以上の団体 *70歳以上の方、大学生以下の方、障がいのある方(付き添い1人を含む)は無料</p>
<p>Nゲージ展示運転</p>	<p>7/31(日) 8/6(土) 8/7(日) 8/11(木) 8/12(金) 8/20(土) 8/21(日) 8/27(土) 8/28(日)</p>	<p>(349)</p>	<p>協力：鉄道の街米子・米子の鉄市実行委員会 会場：第5展示室</p>
<p>共催展 AIR475 2022 滞在成果発表展 「岡田裕子+三田村光土里 -岡田裕子 いま、ここにいます」</p> <p>主催：AIR475(エアヨナゴ) 共催：鳥取県、米子市、米子市教育委員会</p> <p>関連事業：</p>	<p>8/5(金) ～8/28(日)</p> <p>[21日間]</p>	<p>1,003</p>	<p>2021年に現代作家として活動する岡田裕子氏と三田村光土里を招聘し、約3週間にわたり米子を拠点にリサーチと滞在制作を実施した。本年度はその成果発表として岡田裕子氏の展示を米子市美術館において行った。米子高専、鳥根大学、山陰歴史館の協により動く置物、ハリボテ、画像など昭和期と現在の米子との比較による展示等を行った。三田村光土里氏は「この場所に時計を取り戻す-古い時計の文字盤に、まちの記憶が蘇る-」と題して野波屋(米子市道楽町)で9/23(金・祝)～10/10(月・祝)にてアートパフォーマンスを上演・公開する前の作家紹介として映像インスタレーション等を行った。また、これまでのAIR475の活動の紹介も行った。フルーツカフェサエキでは岡田裕子氏の考案したコラボメニューとして「いまここにいますパフェ」あり。</p> <p>会場：第3・4展示室 観覧料：無料</p>
<p>オープニングギャラリートーク</p>	<p>8/5(金)</p>	<p>(41)</p>	<p>解説：岡田裕子氏、三田村光土里氏(本展出品作家)、AIR475代表</p>

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
アーティストによるギャラリートーク	8/6(土)	(55)	解説:岡田裕子氏、三田村光土里氏(本展出品作家)
三田村光土里 Art & Breakfast@ヨナゴミュージアム	8/7(日)	(17)	朝食をしながら、作家と触れ合うパフォーマンス。コロナウイルス感染予防対策をして行った。朝食は実費徴収。 場所:米子市美術館前広場 協力:フルーツカフェサエキ
岡田裕子 公開制作「Rub me tender Love my past:YONAGO 2022」	8/5(金) 8/6(土) 8/7(日) 8/19(金) 8/20(土) 8/21(日) 8/26(金) 8/27(土) 8/28(日)		制作:岡田裕子氏、(本展出品作家)
共催展 共に生きるアート展 KANSEI 9 ～障がいのある人たちが創造するカタチ～ 主催:米子市 共催:米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館	9/13(火) ～9/19(月・祝) [6日間]	937	市内の障がい者施設に入通所している方による美術作品164点を展示。本年度は美術館前広場にて出品者による施設製造品(軽食類、小物類等)の販売も行った。 会場:第4展示室 観覧料:無料
第66回 鳥取県美術展覧会(県展) 主催:鳥取県、鳥取県教育委員会、新日本海新聞社 共催:米子市美術館、倉吉博物館、日南町美術館、境港市	10/8(土)～ 10/17(月) 会期中無休 [10日間]	2,706	県民から公募した8部門(洋画、日本画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン)のうち入選作品408点を展示。 会場:全館 観覧料:無料 *初日、審査員による講評とギャラリートークを実施
コレクション展 I はじめまして! 新コレクション 主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館 関連事業:	9/4(日) ～10/2(日) [25日間]	1,099	昨年度米子市美術館後援会より寄贈いただいた金畑実(1918～2001)、坂口寛夫(1919～2014)、石田整昭(1927～1999)、前田進(1928～2016)、梅原宏治(1932～1985)と、郷土の美術振興に大きな足跡を残した作家や、郷土を離れて活躍した齋鹿逸郎(1928～2007)の代表作など、平成28年度以降に収集した作品をまとめて洋画、写真、版画、彫刻、日本画53点を紹介 会場:第2展示室 観覧料:一般330(270)円 *大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方(付添の方1名含む)及び米子市美術館後援会会員は無料 *()内は15人以上の団体、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員、日本海新聞みみちゃんクラブ、山陰中央新報さんさんクラブ、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポート等、「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」をお持ちの方の料金
学芸員によるギャラリートーク	9/17(土) 10/1(土)	(27)	解説:喜多村主幹学芸員
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(5)	幼い頃から美術館及び美術に親しむことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)と一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。対象者に展示作品の細部に着目できるペーパーを配布して、より楽しめる鑑賞を促した。
コレクション展 II 人それぞれ 主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館 関連事業:	10/30(日) ～11/27(日) [26日間]	1,290	コレクションの中から人物を題材にした作品を、「自像」「肖像」「ヌード」「ある場面」「こども」の5つのテーマにより、洋画、日本画、写真、彫刻、版画、素描の合計53点を展示。 会場:第2展示室 観覧料:一般330(270)円 *大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方(付添の方1名含む)及び米子市美術館後援会会員は無料 *()内は15人以上の団体、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員、日本海新聞みみちゃんクラブ、山陰中央新報さんさんクラブ、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポート等、「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」をお持ちの方の料金 *「文化の日」「関西文化の日」無料開放日 11/3(木・祝)、11/19(土)、11/20(日)の3日間 (期間中入場者数:402人)
学芸員によるギャラリートーク	11/12(土) 11/26(土)	(20)	解説:青戸副館長
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(2)	小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその保護者とと一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるペーパークイズを据置配布して、より楽しめる鑑賞を促した。

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
②教育普及事業			
ミュージアムスクール			
木口木版ワークショップ (企画展関連事業)	7/31(日)	10(※)	講師:鈴木康生氏(版画家) 会場:米子市明道公民館 第1研修室 参加費:1,100円(材料費)
ワークショップ「絵画レッスンABC」	10/10(月・祝)	14(※)	講師:米子美術家協会会員(加藤哲英氏、倉鋪悠氏、中野勝喜氏、濱田美由紀氏、浜野洋一氏) 会場:米子市明道公民館 第1研修室 参加費:500～1,000円(材料費)
アートな散歩 ～街のなかのアートと歴史を探そう～ (米子市美術館・米子市立山陰歴史館連携事業/フレイル予防事業)	10/16(日)	24(※)	解説:喜多村主幹学芸員、(山陰歴史館)山本副館長 会場:米子市文化ホール→米子駅周辺→西部総合事務所 周辺→米子市文化ホール 参加無料
美術上映会 「4Kでよみがえる浮世絵2 歌川広重『名所江戸百景』」	R5.3/12(日)		会場:第1展示室
米子市文化財団・米子工業高等専門学校連携事業 夏の子ども体験教室「リサイクル工作でランプシェードを作ろう!」	7/23(土)	8(※)	講師:上田輝美氏(米子工業高等専門学校) 会場:米子市淀江文化センター 会議室2
米子市文化財団連携事業 米子市文化財団カルチャー・フェスティバル2022	9/24(土)	1,078(※)	米子市文化財団の12施設が集まり、1日限定の昔遊び、工作、ステージイベントなどを展開。美術館ブースでは「レッツリメイクエコグッズ!!」と題し、過去の展覧会ポスターを活用したペーパーバッグやチラシを利用したばら袋を作るワークショップを実施、40人参加。 会場:米子市伯耆古代の丘公園 おまつり広場
博物館実習受入	随時	-	1人受入(京都外国語大学)
インターンシップ受入	随時	-	6人受入(鳥取環境大学1人、島根大学2人、ノートルダム清心女子大学1人、米子北高等学校2人)
「総合的な探究の時間」受入	9/9(火)	-	1人受入(「みらいチャレンジ活動」鳥取県立米子西高等学校)
「総合的な学習」受入	9/9(火)	-	6人受入(「地域を知ろう～地域の再生に向けて努力する人々と地域社会～」米子市立湊山中学校)
特別観覧	12/8(木)	18	たたらと刀剣をテーマとした旅行商品造成事業のためのモニターツアー(刀剣及び拵の特別観覧) 主催:大山山麓・日野川領域観光推進協議会 解説:森井徳訓氏(刀剣研師) 場所:第5展示室
サポーター(ボランティア)	通年	-	展覧会、年間スケジュール広報発送補助、看視受付員補助研修、共催展看視受付補助、アートな散歩参加者補助、新聞スクラップ整理作業等 52回のべ77人活動(第8期2年目・33人登録)
出前講座			
「アート鑑賞会 淀江ゆかりの作家たち ～米子市美術館収蔵品を中心に～」	6/15(水)	21(※)	依頼元:米子市淀江公民館 解説:喜多村主幹学芸員 場所:淀江公民館
「米子彫刻ロード解説」 (東京大学 フィールドスタディ型政策協働プログラム)	9/25(日)	8(※)	依頼元:中海・宍道湖・大山圏域市長会 会場:米子市文化ホール～米子コンベンションセンター～新加茂川沿い～湊山公園艇庫 講師:青戸副館長
米子市小学校図画工作研究部会研修	1/6(金)	-	依頼元:米子市小学校図画工作研究部会 会場:米子市立箕蚊屋小学校体育館 講師:青戸副館長
アンケート	通年	-	展覧会・イベント来場者に配布し意見・要望等を回収、貸館時は1階ホールに一般入館者を対象にしたアンケートと回収箱を設置した。
ホームページによる情報提供	通年	-	展覧会情報、貸館展示情報、展示室空き状況、チケット取扱等随時更新
SNSによる情報発信	随時	-	Twitter上で展覧会関連情報・イベント関連情報やトピックをリアルタイムで発信

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
レファレンスサービス	随時		郷土ゆかりの作家、美術・芸術家、展覧会、美術・博物館情報など市民からのあらゆる問い合わせに対応し情報提供した。
フレイル予防等推進事業	随時		フレイル予防等を考慮し、対話型鑑賞をコレクション展やアートな散歩などと関連して実施した。
美術館オリジナルグッズ製作	①10月 ②1月22日 発売開始		①トートバッグ4種(美術館ロゴ白黒、笹鹿彪《小鳥屋》、香田勝太《猫と芍薬》) ②クリアファイル1種(伊谷賢三《伯耆大山晩秋》)
③資料収集事業			
郷土関係作家、次年度以降事業資料収集	通年		収蔵作家関係、地元作家、若手作家関係調査 次年度企画展等実施に向けた調査等
収蔵作品・資料データベース化	通年		収蔵品管理システム入力
収蔵図書データベース化	通年		収蔵品管理システム入力
収蔵品の修理・修復	随時		米子市所蔵及び寄託刀剣手入 令和2年度新収蔵版画作品マット装(関野準一郎《椿と鬼灯》ほか7点)
収蔵品の貸出等	随時		鳥取県立博物館 移動美術館・南部展「もっとはんがりましょう。」(キナルなんぶ)へ 版画用プレス機1点貸出 「鉄道と美術の150年」(東京ステーションギャラリー)へ 岩佐保雄《踏切を守る母子》ほか計2点貸出 画像貸出6件(13点)
収蔵品状況			洋画210点、日本画90点、素描294点、 彫刻34点、書10点、版画363点、写真841点、 工芸1点、資料72点 合計1,915点
その他事業			
展覧会図録等の売捌	通年		既刊展覧会図録や所蔵品目録などの販売
年報発行	随時		隔年報として令和3・4年度の2ヶ年分の美術館活動報告をまとめる。巻末に開館以降の展覧会実施状況などを収録予定。
戸田海笛《喜怒哀楽の図》ブロンズレリーフの点検・清掃	2月中旬予定		昨年度本格的に《喜怒哀楽の図》原型よりブロンズ鑄造を行なった黒谷美術(株)によるメンテナンス作業を行い、通常の点検・清掃作業手順の指導を受け、毎年サポーターまたは実習生等と清掃をおこなう。
開館記念日イベント	6/17(金)		米子市展会期中の当日来場者206人に収蔵作品ポストカードプレゼント
井上幸夫・英子コレクション展示替等	随時		アジア博物館に寄託されているアール・ヌーヴォー期のガラス工芸作品について定期点検を実施。
令和4年度12月までの主催事業入場者数合計(人)		42,473	美術館外で実施したもの(※)及び ギャラリートークなど入場者が重複しているもの()は除く
(前年同月実績)		31,350	

②貸館事業 (令和4年12月末現在)

会期	展覧会名	展示室	入場者数(人)		備考
			小計	合計	
4/1～4/11	第64回 新協展	1～5	-	2,386	
6/24～6/28	永井俊郎絵画展	1	588	1,071	
	米子美術家協会小品展	3	652		
	ガッツガイナーレ応援書道展	4	699		
7/1～7/5	二科会写真部鳥取支部展	1	491	796	
	伯耆書院展 ～私の原点 母校の校歌を書く～	4	649		
7/8～7/12	第7回 国展・とつとりの会	1	-	201	
7/15～7/26	山田敏和写真展「アフリカ 部族への敬意」	1	-	593	
7/23～7/24	第36回 日本習字鳥取県西部地区書道展	3・4	-	700	
9/2～9/6	第53回 美術集団ゼム作品展	1	406	864	米子市秋の文化祭参加事業
	第37回 米子写真倶楽部作品展	3	455		米子市秋の文化祭参加事業
	第63回 チャーチル会米子作品展	4	606		米子市秋の文化祭参加事業
9/9～9/13	第26回 ビスターレ絵画展	1	576	690	米子市秋の文化祭参加事業
	日本風景写真協会鳥取支部写真展「四季彩々」	3	383		米子市秋の文化祭参加事業
9/16～9/20	第42回 フォトクラブピノキオ写真展	1	496	619	米子市秋の文化祭参加事業
	福島絵画教室生徒展	3	411		
9/23～9/27	第21回 鳥取県西部地区アンデパンダン絵画展	1	693	996	米子市秋の文化祭参加事業
	第53回 写真集団ゼロ作品展	3	571		米子市秋の文化祭参加事業
	鳥取県書写書道教育研究会 生徒条幅展	4	439		米子市秋の文化祭参加事業
9/30～10/4	第4回 仁愛書院展	1	927	1,372	米子市秋の文化祭参加事業
	'22 山陰新協米子展	3	528		米子市秋の文化祭参加事業
	鳳水書院展 因幡・伯耆・石見ですごした萬葉の歌人たち	4	931		
10/21～10/25	第14回 米子陶友会展	1	985	2,276	米子市秋の文化祭参加事業
	イマージュガラス工芸教室 第34回「彩りの時間に」	2	1,460		米子市秋の文化祭参加事業
	第43回 龍心展	3	673		米子市秋の文化祭参加事業
	第81回 米子美術家協会展	4	1,063		米子市秋の文化祭参加事業
10/21～11/1	米子市文化協議会鑑賞4団体紹介展	5	-	462	米子市秋の文化祭参加事業
10/28～11/1	第24回 透明水彩で描く水彩画作品展	1	1,018	2,139	米子市秋の文化祭参加事業
	第50回 米子墨彩会水墨画展	3	710		米子市秋の文化祭参加事業
	第14回 たまいつかさとアトリエKūの子どもたち「ソウゾウのちから展」	4	1,621		米子市秋の文化祭参加事業
11/4～11/8	第27回 米子市写真家協会展	1	683	794	米子市秋の文化祭参加事業
	サークル"U"写真展「それぞれの視線」	3	373		米子市秋の文化祭参加事業
11/11～11/15	第41回 麗山書院展	1	613	2,471	米子市秋の文化祭参加事業
	西部地区中学校美術教育研究会 中美展	3・4	2,288		米子市秋の文化祭参加事業
11/18～11/22	第36回 米子工芸会展	1	590	833	米子市秋の文化祭参加事業
	第39回 米子地区書道連盟展	3・4	558		米子市秋の文化祭参加事業
	第58回 米子かこう会作品展	5	252		米子市秋の文化祭参加事業
11/25～11/29	第55回 麓人展	1	549	983	米子市秋の文化祭参加事業
	心の針仕事 第15回パッチワークキルト 展Smile & Peace	3・4・5	819		米子市秋の文化祭参加事業
12/3～12/11	令和4年度 鳥取県障がい者芸術・文化作品展 あいサポート・アートとつとり展	1～4	-	760	
12/17～12/26	第20回鳥取県ジュニア美術展覧会(ジュニア県展)	3・4	-	2,214	
12/23～12/27	令和4年度 シニア作品展	1・2	-	447	
貸館事業入場者数合計			利用件数 42件	23,667	利用料収入 2,202,231円
(前年同月実績)			40件	21,381	1,995,827円

1 基本方針

- (1) 市民に親しまれる美術館をめざし、地域文化の創造に寄与する。
- (2) 市民の文化に対する知識及び教養の向上に資するよう努める。
- (3) 広く市民に美術作品等の発表の場を提供し、文化交流の発展に努め、美術館の利用促進を図る。
- (4) 様々な自主事業を展開し、地域社会の文化の核としての機能を充実させることにより市民と共存する美術館をめざす。
- (5) 市民ニーズに対応するための多様な情報を提供・発信する。
- (6) 長年の管理運営実績で培った適切な方法により、美術館を維持管理する。

2 重点施策

- (1) 芸術文化の鑑賞機会の提供
特別企画展〈1本〉、特別共催展〈1本〉、共催展〈3本〉、コレクション展〈4本〉を企画・開催し、芸術性の高い多彩な美術作品を紹介し、美術愛好者の拡大に努める。
また、令和元年度から隔年で発行している年報の制作発行をする。
- (2) 美術資料の収集・保管・調査研究
米子市美術館条例に則り、美術資料の収集・保管を行い、良好な状態で次世代に継承する。郷土作家の掘り起こしを中心に調査研究を継続し、米子を中心とした美術の発信地の役割を果たす。
- (3) 収蔵作品・資料データベース化
収蔵作品をはじめ、未整理の作家関連資料やスケッチ等をデジタルコンテンツ化し、収蔵品管理システムによるデータベース化をより一層図る。
- (4) 収蔵図書資料のデータベース化
図書管理システムにより、当館で収蔵している画集や美術展カタログ等新規追加分を含め図書資料のデータベース化を継続して行う。
- (5) 生涯学習活動とコミュニティ活動の支援
美術講演会やワークショップ等の教育普及活動を行い、幅広い市民を対象に積極的な参加型の生涯学習の場を提供する。
- (6) 市民の発表の場の提供
市展・県展・米子市秋の文化祭の運営に参画・協力し、作品の発表と鑑賞の機会を設け市民の美術振興に寄与し、また利用しやすいサービスを提供する。

事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施期間	備考
管理運営等事業			
①展覧会事業			
開館40周年記念 特別共催展 大広重展 ～東海道五拾三次と 雪月花 抒情の世界～	浮世絵風景画の名手、歌川広重(1797-1858) 「東海道五拾三次」55点全てを展覧し、晩年の 鳥瞰図「五十三次名所図会」とともに特別展示 の葛飾北斎「小判五十三次」と3作品で比較展 示する。また、「名所江戸百景」はじめ、初期 の美人画や卓越した描写力が光る貴重な肉筆画 などとともに豊国、国貞など名だたる絵師たち の「雪月花」もあわせて紹介する。 入場有料、会期中無休 入場者見込数 15,000人	4月7日(日) ～5月22日(月) [46日間]	第1～4展示室
開館40周年記念 特別企画展 井田幸昌 Panta Rhei- 世界が存在する限り-	井田幸昌(1990年日吉津村生まれ)は、2021 年、日本の民間人として初めて宇宙旅行をした 前澤友作氏によって、国際宇宙ステーション (ISS)に絵画作品が持ち込まれたことでも話題 を呼んだ画家・現代美術家。本展は、国内未発 表作を含むこれまでの絵画作品、立体作品に加 えて、井田が絵日記のように日々綴る”End of Today”シリーズ、そして最新作品までを一堂に 展示する国内美術館での初個展。 入場有料、水曜休館 入場者見込数15,000人	7月22日(土) ～8月27日(日) [32日間]	第1～4示室
開館40周年記念企画 コレクション展	コレクション展は美術館活動の基本であり、広 く市民に当館の活動及び収集方針に沿った展示 を行い、市民の美術文化の向上に資する。本年 度は開館40周年を記念して、収蔵品の全貌を 4期5会場で紹介する。 I期=写真、II期=版画、III期=洋画、 IV期=彫刻・日本画・書・工芸。 入場有料、水曜休館 入場者見込数 2,000人	・I期:[26日間] 9月10日(日) ～10月9日(月・祝) ・II期:[31日間] 10月29日(日) ～12月3日(日) ・III期:[25日間] 令和6年1月21日(日) ～2月18日(日) ・IV期:[27日間] 令和6年2月23日(金・祝) ～3月24日(日)	I～III期 第2展示室 IV期 第1・2展示室
第62回 米子市美術展覧会 (市展)	広く市民から美術作品を募り、発表と鑑賞の機 会を設けることにより美術の振興に寄与する。 入場無料、会期中無休 入場者見込数 2,500人	6月9日(金) ～17日(土) 会期中無休 [9日間]	第1～5展示室
第67回 鳥取県美術展覧会 (県展)	広く県民から美術作品を募り、優れた作品を展 示することによって、創作活動の振興を図ると ともに、鑑賞の機会を提供し、美術、文化の振 興に寄与する。 入場無料、会期中無休 入場者見込数 3,000人	10月14日(土) ～23日(月) 会期中無休 [10日間]	第1～5展示室

事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施期間	備考
共催展 共に生きるアート展 KANSEI10 ～障がいのある人たちが 創造するカタチ～	米子市内の障がい者施設に入通所されている障がいのある方の作品を展示する。 入場無料、水曜休館 入場者見込数 500人	9月19日(火) ～25日(月) [6日間]	第4展示室 米子市との共催事業 (美術館は展示等担当)
共催展 鳥取県ミュージアム・ ネットワーク 共同企画展 素描の魅力(仮)	県内の美術系美術館・博物館が連携しておこなう共同企画展。今回は各館の素描作品に注目して紹介する。 入場有料 (※同時開催のコレクション展Ⅲの料金) 水曜休館、入場者見込数 500人	令和6年1月21日(日) ～2月18日(日) [25日間]	第1展示室
②教育普及事業			
ミュージアムスクール	ワークショップ、アートな散歩(まちなか彫刻・芸術等探検ウォーク)、上映会などを実施。 1) 美術館・児童文化センター連携事業 「工作ワークショップ(仮称)」 2) 美術館・歴史館・上淀白鳳の里連携事業 「アートな散歩～淀江の史跡を巡る～」 3) 美術上映会	1) 夏休みと秋の2回 (調整中) 2) 10月15日(日) 3) 3月3日(日)	1) 美術館創作広場 (雨天時は別会場予定) 2) 淀江地区 3) 第3展示室
美術講演会	美術界の第一線で活躍されている方に講演してもらい、広く美術の知識を深める機会を提供する。	特別企画展及び 特別共催展 会期中	会場等未定 (特別企画展及び特別共催展を含む) ※新型コロナウイルス感染症予防に配慮して実施。
ギャラリートーク (展示解説)、 鑑賞会	コレクション展及び特別展の展示解説を行い、展示作品の理解を深める機会を提供する。また未就学児と親のための鑑賞会(おやこでアートじかん)、認知症のかたと家族・パートナーのための鑑賞会、対話型鑑賞会など、あらゆる方の鑑賞の場を提供する。	コレクション展・ 特別企画展・ 特別共催展 会期中実施予定	(各展覧会を含む) ※新型コロナウイルス感染症予防に配慮して実施。
米子市文化財団・ 米子工業高等専門学校 連携事業	米子高専と米子市文化財団との連携事業の一環。淀江文化センターとも連携しワークショップを中心に行う。	夏休み中で調整	米子市淀江文化センター(予定)
米子市文化財団連携事業 米子市文化財団 カルチャー・ フェスティバル2023	米子市文化財団が管理・受託している各施設が特色のあるワークショップを実施する。	9月23日(土・祝)	調整中
博物館実習の受入	大学・大学院生の学芸員資格取得のための実習の受入、市内中学校・高等学校の職場体験の受入、就業のためのインターンシップ等の受入を行う。	随時	
各種団体等との 連携事業	鳥取県、鳥取県ミュージアム・ネットワーク、他の美術・博物館などの各種団体等と連携を取りながら芸術美術の振興に努める。	随時	

事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施期間	備考
【新規】美術館・図書館 連携事業	展覧会及び関連事業開催中に隣接している米子市立図書館に関連図書コーナーを設置し、市民により深く関心を持ってもらう。	特別共催展・特別企画展 等会期中	米子市立図書館内
【新規】美術館・カフェ 連携事業	美術館展覧会及び関連事業開催中に隣接しているフルーツカフェサエキの協力により、コラボメニューなど考案し、美術館・カフェともに市民により親しみ楽しんでもらうために行う。	特別共催展・特別企画展 等会期中	フルーツカフェ サエキ
美術館サポーター	ボランティア組織作り及び研修等の指導を通し活動基盤をすることにより、市民が主体的に美術館活動に関わる様々な機会を設ける。	通 年	本年度は 第9期1年目
出前講座	市内小・中・高等学校、公民館及び市内団体に向け、学芸員レクチャーや美術上映会、野外彫刻探検等を行う。	通 年	
アンケート	自主事業来場者及び一般来場者に対し随時実施する。	通 年	
ホームページによる 情報提供	美術館の基本情報とともに最新情報、過去の実績など広く周知するために随時更新する。	通 年	
SNSによる 情報発信	展覧会やイベントの関連情報トピックをリアルタイムで発信する。	随 時	
レファレンスサービス	郷土ゆかりの作家、美術・芸術家、展覧会、美術・博物館情報など市民からのあらゆる問い合わせに真摯に対応し情報提供をする。	通 年	
フレイル予防等 推進事業	フレイル予防等を考慮し、対話型観賞会（認知症の方と家族のための観賞会）や、アートな散歩（まちなか彫刻・芸術等探検ウォーク）など関連して実施する。	通 年	
③資料収集事業			
情報資料収集・調査	基本的な収集方針に基づき、作品・資料等の収集を行い収蔵品の充実を図り、保管にあたる。また当館の重要な収蔵品のうち、特に緊急な修復を必要とする作品について計画的に調査点検し担当課と協議の上、実施する。	通 年	
収蔵作品・資料 データベース化	収蔵作品をはじめ、未整理の作家関連の作家関連資料やスケッチ等をデジタルコンテンツ化し、収蔵品管理システムによりデータベース化する。	通 年	
収蔵図書 データベース化	収蔵画集や美術展図録等新規追加分を含めデータベース化する。	通 年	
④貸館事業			
貸館事業	個人・団体への展示室貸出を行い、芸術文化活動の場を提供する。	通 年	

事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施期間	備考
⑤その他事業			
図録等の売捌	既刊展覧会図録や所蔵品目録、ポストカード、オリジナルグッズなどを販売する。	通 年	
年報発行	展覧会などの事業記録をまとめた年報を隔年発行する。本年度は令和3、4年度の実績をまとめて第2号として発行。	令和6年3月発行予定	
戸田海笛 《喜怒哀楽の図》 ブロンズレリーフの 点検・清掃	令和3年度に専門家により通常の点検・清掃作業手順の指導を受けたことに基づき、野外彫刻の維持管理を行う。サポーターまたは実習生等とともにおこなう予定。	秋頃	
開館記念日イベント	米子市展会期中の当日に実施する。	6月17日(木)	
刀剣手入	米子市所蔵及び寄託刀剣の手入を年2回行う。	随 時	
井上幸夫・英子 コレクション展示替等	アジア博物館に寄託されているアール・ヌーヴォー期のガラス工芸作品について定期点検を実施。	随 時	
【新規】燻蒸	5年に1回全館の虫・カビの燻蒸作業をおこなう。本年度は実施年度。	1月、3月実施予定	

令和5年度米子市美術館 購入収蔵候補作品について

- ・小早川秋聲 日本画作品 1点
《弓ヶ浜之晴嵐》 1933年 紙本着色 軸装 54.7×90.1 (cm)
- ・岩宮武二 写真作品 28点
《菊の門 東本願寺》 1955-1962年
ゼラチン・シルバー・プリント/2019年プリント 47.2×37.8 (cm)
ほか27点 合計28点
- ・天野純治 作品 3点
① 《voice of wind #02053》 2020年 アクリル、鉛、紙 50.0×66.0 (cm)
② 《voice of wind #020105》 2020年 アクリル、鉛、紙 50.0×66.0 (cm)
③ 《EDGE 80-E-25》1980年 シルクスクリーン 63.0×91.0 (cm)
- ① ②アクリル作品各1点、③版画作品1点
合計 3点